

日時

令和6年6月13日(木)～14日(金)

参加者

地域国際化協会、自治体等より 14名

統括ファシリテーター 大森 氏

(公益財団法人 滋賀県国際協会 主幹)

テーマ

「外国ルーツの人々とともに魅力のある
地域づくり・人づくりへの道」

内容

滋賀県(大津市、東近江市)の先進事例から学び、
その学びを各参加者の地元でどのように活かすかを
ワークショップで掘り下げる。

人の多様性から外国人との共生を考える

体験塾in滋賀

「外国ルーツの人々とともに魅力のある地域づくり・人づくりへの道」をテーマに滋賀県(大津市、東近江市)の先進事例から学び、その学びを各参加者の地元でどのように活かすかをワークショップで掘り下げる。

参加概要	
開催日 令和6年6月13日(木)～14日(金)	参加費 無料 ただし、交通費、宿泊費(各自手配)、食費は各自のご負担
参加対象 地域国際化協会、市区町村国際交流協会 自治体の職員	募集期限 令和6年5月24日(金)
定員 20名	

応募はこちらへ

※Googleフォームから申し込みが出来ない方はこちらへご連絡ください。



プログラム概要(1日目)

6月13日(木) 大津市

■オリエンテーション

総括ファシリテーター 大森様から、2日間の研修のポイントや、滋賀県の在留外国人の状況などについてお話しいただきました。

■滋賀朝鮮初級学校

滋賀朝鮮初級学校講師 鄭様から、学校設立に至る経緯や学習内容、外国人学校を取り巻く状況や課題などについてお話しいただくとともに、授業風景を見学させていただきました。

■渡来人歴史館

渡来人歴史館専門員 大澤様から、渡来人をキーワードに日本と東アジアとのつながりや歴史について、最新の研究などに基づきお話しいただきました。



プログラム概要(1日目)

6月13日(木) 大津市

■ワークショップ&ふりかえり

- ・外国人の立場を理解するため、言語を理解できないところで被災したことを想定したワークショップを体験しました。
- ・参加者はワークショップを通じて、言語を理解できないことから生じる不安感をはじめ、ピクトグラムや多言語表示の活用など、情報が「伝わる」ための工夫の重要性に気づくことができました。
- ・多言語表示には、外国人のために単に情報を翻訳して伝えるだけではなく、日本人に対して外国人も身近にいるというメッセージにもなるなど、複数の効果があることを学びました。
- ・ふりかえりセッションでは、視察や講義で学んだことについてグループで振り返り、ディスカッションすることで、それぞれの地域で何ができるかを考えました。
- ・「次世代を担う子供たちのために自分は何ができるだろう。」という参加者の言葉が印象的でした。



プログラム概要(2日目)

6月14日(金) 東近江市

■日本ラチーノ学院

日本ラチーノ学院 校長 カミムラ様から、学校設立に至る経緯や外国人学校を取り巻く状況や課題などについてお話しいただくとともに、授業風景を見学させていただきました。

■(公財)滋賀県国際協会 事業紹介

総括ファシリテーター 大森様から、滋賀県国際協会の取り組みについてお話しいただきました。「外国人は地域のポテンシャルである。」という言葉に参加者は大きな刺激を受けていました。

■移民支援団体 immi lab 活動紹介

移民支援団体 immi lab(イミラボ) 代表 北川様から、移民ルーツを持つ若者のメンタープログラム「プロジェクトポンテ」などの取り組みやその理念についてお話しいただきました。



プログラム概要(2日目)

6月14日(金) 東近江市

■ふりかえり

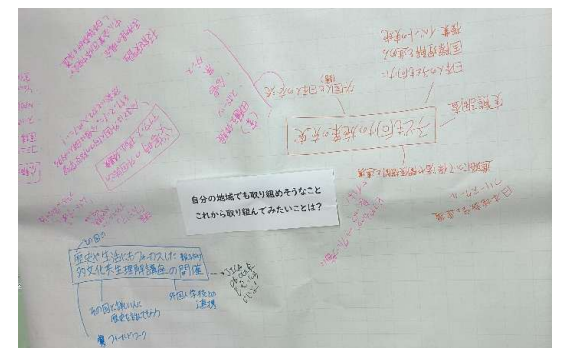
2日間を通して学んだことや感じたことを振り返り、それらを自分たちの地域の活動にどうつなげるかを考え、アウトプットしたうえで、参加者同士でディスカッション・フィードバックしました。

《参加者の案》

- ・夜間に行う外国人向けキャリアカウンセリング
- ・外国人と日本人をマッチングして行うメンター制度
- ・外国人生徒を対象とした進路指導や親世代への説明会
- ・外国人住民のロールモデルの掘り起こし(インタビュー)
- ・県民向けの多文化共生理解講座

■その他

研修後は、ブラジル食材スーパー「スキナブラジル」に立ち寄りました。



参加者の声

体験塾の感想

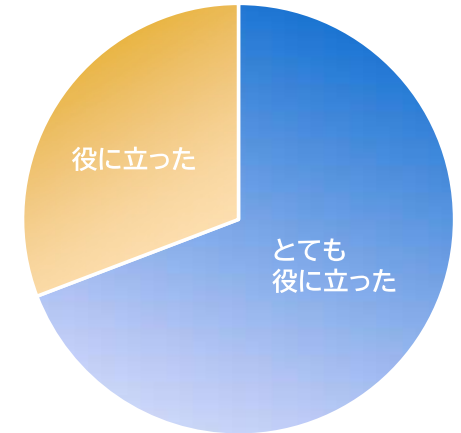
視察先の学校は今回が初めての訪問でしたが、教育現場の現状や課題について学ぶことが出来ました。今回体験したこと、学んだ事をしっかり受け止めて、この課題について考え続けていこうと思いました。

大変充実していました。どの内容も情報の質・量ともに十分で、短い期間の中で多くを学ばせていただきました。

現場に行けて良かったです。外国人はかわいそうじゃなくて、外国人住民はポテンシャルを持っているという言葉に本当に感動しました。

今回の研修で自分の知らない言語が並んでいることへの不安や、その国の文化や背景を知らないだけで偏見等が生まれることを改めて考えさせられました。まずは、多文化共生理解講座等で県民向けに発信していきたいと思います。

Q 体験塾の内容はどうか



参加者の100%に満足いただけました。

